

第28回「議員と語りかい」報告書

2班 (No.1)

開催日	平成30年11月 8日 (木) 19時00分 ~ 20時30分		
開催場所	富隈地区公民館		
団体名	富隈地区自治公民館	参加人員	22人 (男15人:女 7人)
出席議員	松枝 正浩、鈴木てるみ、徳田 修和、松元 深、下深迫孝二、蔵原 勇		
役割分担	班 長 (徳田 修和) 副班長 (松枝 正浩) 記録係 (松元 深)		
テーマ及び具 体的な内容			

意見 交換 の 主 な 意 見 等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	◆高齢化が進んで、健康寿命が延びなくてはいけない。いきいきチケットなどの配布が行われているが、もっと積極的に健康寿命が延びる施策を考えるべきである。団地でも、様々な行事に取り組んでいるが、参加者はいつも同じような人である。
	◇いきいきチケットの使い方についても研究を行っているので、意見等もいただきたい。市では自治会での活動に補助を出しているの、積極的な地域での活動をお願いしたい。
	◆中国上海の公園には、スポーツジムみたいに健康器具が設置してある。河川敷公園などを散歩しているが、歩くだけなので健康器具やベンチがあればいいと思うので、公園への設置を検討してほしい。 ◇多くの方に公園を利用していただき、健康につながれるようにできないか研究していきたい。
◆高専近くに新しい公園ができて健康器具も設置されているが利用者がいないようである。利用向上のために講習会などがあればいいと思う。	

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆自然災害は、ますます大きくなり想定外のものがくるといわれており、「まさか」という気持ちを持たないといけないと考えている。台風や大雨のときは避難情報が出されるが、富隈地区の避難所は公民館や中学校等で地区住民を全て受入れることができない。定員なども考慮して避難所の設定が必要ではないか。

◇避難所については、第1次避難所、第2次避難所が設定されている。台風などの避難は短期間であるが、大災害になると長期間も予想されるため、定員などの設定も必要であるとする。

◆男女共同参画で公民館などに講師として行っているが、その時やいろんなイベントでも男性の参加者が少ない。もう少し男性を行事に参加させるために、行政と地域が一緒になった対策はできないか。

◇市としても工夫はしていると思うが、やはり自治会などでも工夫をお願いしたい。

◆小学校の空き教室を活用し高齢者を対象とした色々な教室を実施して、小学生とのふれあいで解消する方法など新しい取組はできないか。

◇小学校の利用に限らず、高齢者が子どもたちと関われるイベントなどを考えていければと思っている。

◆富隈小や天降川小では、交通安全に関する話し合いがあり通学路などに関して話し合いを行っている。そのなかで、鹿銀隼人南支店の交差点から徳田ラーメンまでの歩道がない、山崎資源周辺は通勤時間帯に危険な状態が多いので歩道が必要である。議会のなかでも認識していただきたい。

◇鹿銀付近の交差点については、県道、市道が混じっているため県にも要請している。山崎資源近くの危険箇所については、把握しているので要請していく。

◆高専宿舎跡地は国の所有であるが、市で取得して避難場所等として活用できないか。

◇以前に、国から払い下げの話があったが高額であり、民間を含め払い下げには至らなかった。今後、国が払い下げる場合は、市にも話があると思うので検討していくことになる。

◆隼人塚団地入口から国道10号までの市道建設進捗状況について

◇隼人塚団地入口から高専までを平成31年度までの計画として実施している。

◆浜之市区画整理事業について、国道10号に接する一部が残されているが、どのようになっているのか。

◇現在、法的に手続きが進められている状況である。

意見交換での主な意見等